

<アントロポゾフィー医療講座>

子どもの病気と手当

～ 毎日の生活の中で できること ～

子どもたちは、よく病気をします。
 病院に連れて行くことが必要なときもちろんあるけど、
 軽いうちに家でできる手当は、たくさんあったほうがいいですね。
 また、毎日の生活のなかで予防的にできることもあったらいいですね。
 家庭で使える、オイルや湿布、バスミルクの効用などお伝えしたいと思います。

日 時 2014年6月20日(金) 10時～12時
場 所 小さいお家(福津市宮司浜 2-16-38 宮司コミセンとなり)
参加費 1500円(NPO 法人賢治の学校ふくおか正会員割引あり)
講 師 安達 晴己(一般内科医、アントロポゾフィー医学認定医師)



～託児保育あります。(1歳以上、1人500円)～

お子さんの様子によっては、無理にお預かりしない場合もあります。

1週間前までに必ずお申し込みください。当日のキャンセルは保育料のみ全額いただきます。

次回は、11月14日(金)の予定です。

<お申し込み>

申し込み期日 2014年6月13日(金)

お名前			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
E-mail			
託児 アレルギー等ありましたらご記入下さい	名前:	(才)	名前: (才)

質問等ありましたら、ご記入下さい。できれば当日お答えします。



・アントロポゾフィー医学とは

アントロポゾフィー、ヴァルドルフ教育の提唱者であるオーストリアの哲学者ルドルフ・シュタイナーと、オランダのイタ・ヴェーグマン医師によって研究・実践された医学である。自然科学に基づいた現代の医学に、ルドルフ・シュタイナーが研究した人間の本質や身体的魂的發展、人間と自然と宇宙の総合的な進化についての認識を付け加えるものである。世界 60 か国以上に広がり、ドイツ・スイスでは公的保険が適応される病院や診療所がある。日本では 2004 年から海外講師を招いての国際アントロポゾフィー医学セミナーが開かれ、医師・医療従事者が研修している。

・小さいうち自由クリニック

2011 年 11 月に福津市に開業。自由診療でアントロポゾフィー医学に基づく医療を行っている。医師の診断のもと、薬物療法やオイリュトミー療法、アインライビング（オイル塗布療法）を受けることができる。

・講師プロフィール

安達 晴己

一般内科医、アントロポゾフィー医学認定医。

医師として研修後、子育てを通してアントロポゾフィーと出会う。

賢治の学校ふくおかの活動に参加。親としてたんぼぼこども園の設立に関わり、現在も理事、園医を務める。

2010 年アントロポゾフィー医学の認定医を取得。

通常医学の診療所に非常勤として勤務。アントロポゾフィー医療を自由診療で行う、小さいうち自由クリニックを福津市に 2011 年 11 月に開所。

日本アントロポゾフィー医学のための医師会代表。二児の母。



<主催・お問い合わせ>



NPO法人
賢治の学校ふくおか

〒811-3311 福岡県福津市宮司浜3-6-26

tel&fax 0940-52-0886 (牧野)

e-mail: kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp

<http://www.kenjinogakkou-fukuoka.com>

たんぼぼこども園 所在地： 福津市宮司浜3-6-8

そらの家 所在地： 福津市宮司浜3-6-26